

今年の干支は寅。寅年生まれの方は、決断力があり、俊敏に動いて、物事を解決する能力がある。

また、積極的に物事に挑戦し、困難や障害を乗り越えようとする人だそうです。

そこで、寅年生まれの4名の方に2022年の年頭にあたり、抱負やモットーなどをお聞かせいただきました。

干支

三浦友幸さん

昭和37年3月28日生

税理士

「お客様あってこそその仕事だと考えているので、とにかく親切丁寧に対応することを心がけています」と語るのは、市内五稜郭町に事務所を構え、忙しい毎日を過ごされている税理士の三浦友幸先生です。

三浦先生は松前町のお生まれで、高校は函館中部高校を卒業。その後、独学で勉強し税理士資格を取得される。

資格取得後、東京の会計事務所に4年間勤めた後、函館に帰ってこれ、14年間税理事務所に勤務。それまでに培った経験をもとに、平成12年に富岡町に事務所を開業し、その後現在の五稜郭町に事務所移転された。

「おかげさまで、開業してから今に至るまで特にトラブルもなく順風満帆に来ており、あまり苦労したという記憶はありません。ありがたいことです。」と当時を振り返る。



そんな三浦先生の座右の銘は「人間万事塞翁が馬」で、「あれはいい言葉ですね、これからも何があっても動じることなく、長く仕事を続けていきたいと考えてます。」と語ってくれた。

お休みの日の過ごし方を伺うと、「最近市内を自転車で走り回っていますね。普段車で通る場所は決まっていますので、普段は入っていかない路地などで走っていると新鮮な気持ちになりますね。」と語る。

今後の抱負としては、「80歳までは現役で税理士を続けていきたいと思っているので、健康に注意して1年を過ごしていきたいです」とのこと。

今年も、益々のご活躍されることを祈念いたします。

野田稔真さん

平成10年11月18日生

税務署

「初めてのことで、大変な毎日を送っていますが、『明るく元気に』をモットーに日々仕事に取り組んでいます」と語るのは、昨年の令和3年に新卒で入庁された函館税務署の野田稔真さんです。

野田さんは、函館市のお生まれで、稜北高校を卒業後、弘前大学へ進学し、その後国税職員となりました。

税務署職員を目指すこととなったきっかけを伺うと「大学在学中に説明会に参加し、そこで税務署の説明を受け、調査の仕事に興味を持ち、自分もやってみたくて考えたからです。現在は、実際に調査の現場に同行するようになりました。最初は分からないことばかりでしたが、徐々に慣れてきて見るべきポイントなどが分かるようになってきましたね。」と語ってくれた。

そんな野田さんの休日の過ごし方を伺うと「釣りが趣味なので、休みの日は函館近郊の海に出かけてます。生まれも育ちも函館なので、海が身近にあって、小さいころから海に遊びに行っていました。今だと、ソイがよく釣れますね。」とのこと。

今後の抱負については、「昨年入庁したばかりで、リモートで仕事をしていた期間もあり、なかなか慣れない部分や分からないことも多い毎日ですが、一日でも早く基本的な仕事をスムーズにこなせるように頑張りたいです。」と語ってくれた。

今年も、仕事にプライベートにご活躍を期待いたします。



賀正



伊戸川 希 夢さん

平成10年6月18日生

税務署 「仕事をする上で、大切にしていることは根拠を示すことです。一般の人や、税や制度についてあまり詳しくない人に対しても、分かりやすくかみ砕いて説明をし、理解してもらえるように心掛けています」と語るのは、令和2年に入庁した函館税務署の伊戸川希夢さんです。

伊戸川さんは、札幌市のお生まれで札幌丘珠高校を卒業後、税務署職員となり今年で2年目となります。

税務署職員を目指すこととなったきっかけを伺うと「もともと法律関係の仕事に興味を持っていたので、税務署の仕事について調べたときに楽しそうだなと考え志しました。」とのこと。

函館へ赴任して2年目となる伊戸川さんに、函館への印象を伺うと「札幌に比べると雪も少なく住みやすい街だなと思います。また、コロナ禍の最中ということもあり、あまり観光名所などに行けてはいませんが、海が近くにあるのがいいですね。」と語ってくれた。

そんな伊戸川さんに休日の過ごし方を伺うと、「主に家で、映画を見ていることが多いですね。ステイホームで感染対策はバッチリです。」とのこと。

今後の抱負については「目標は、痩せることです。仕事の方では、今与えられている仕事を深く追求していくことで、さらにパワーアップしていきたいと考えています。」と語ってくれた。

今年もお体に気を付けて仕事にプライベートにご活躍して下さい。



田口 輝さん

昭和49年4月9日生

青年部会 「仕事をするうえでは、何よりもおいしいものをつくる事を一番に考えてやっています。観光土産を取り扱っているので、自分でおいしいと思ったものや、家族に送りたいと思えるものを商品に出したいと思います。そのせいで、商品化までに時間がかかることも多いですが、妥協をせずにやっています。」と語るのは、2005年度に青年部会へ入会された昭和製菓株式会社の代表取締役田口輝さんです。

田口さんは、函館のご出身で、函館工業高校を卒業後、札幌の短期大学へ進学され、日産ディーゼル工業(現:UDトラック北海道)へ入社される。その後、2000年に函館へ戻り、昭和製菓株式会社へ入社され、2016年に代表へ就任されました。

青年部会の活動で印象に残ったことを伺うと「自分が委員長時に担当した例会です。中でも平成29年の9月に函館の新たな名物を考える例会を行い、その一連の流れでその年の忘年会に例会で生まれた名物を参加者にふるまい、喜んでいただいたのが印象に残っています。」と語ってくれた。

そんな田口さんの座右の銘は、「思い立ったが吉日」で、「委員長を務めたときの委員会テーマにも使用したことがあり、思い入れがある言葉です。」とのこと。

今後の抱負を伺うと「ウチは観光業なのでコロナが無事収まってくれるのを祈りながら、健康に過ごしたいです。また、青年部会のメンバーも増やしたいと考えているので、興味がある人はぜひ入会してください。」と語ってくれた。

今年も、仕事にプライベートにご活躍を期待いたします。



賀正



頌春

謹んで新春の御祝詞を
申し上げます。
本年もよろしくお願い申し上げます。
令和4年 元旦

公益社団法人函館法人会

会長 福西 秀和



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索